

区会ればーと

須磨区会 ウォークラリー成功



秋晴れの10月27日、須磨区会は奥須磨公園で初のウォークラリー大会を開催。地元や近隣の区会から合わせて22チーム・55人の参加があり、紅葉の森で楽しい1日を過ごしました。

9時35分、スタッフの合図で最初のチームがスタート。1～2分の間隔で次々に森へ姿を消します。コースは約3.5km。(80分で完走できるように設定しましたが、参加者には伏せています)。コマ図と呼ぶスポット的な地図を頼りに、9つのチェックポイントをつないで一周し、スタート地点に戻ります。

ポイント毎にスタンプ台や、トンボの種類を問う設問があり、メンバーが協力して頭をひねらなければなりません。

10時50分、《さくら＝水島・坪田組》がトップでゴールしたのに続き、各チームが続々とUターン。優勝は時間・ポイント得点とも100点をマークした《マジック＝戸田・政岡・古勝組》が獲得。そのほか飛び賞など7チームに賞品が贈られました。

ゴールした全員にアンケートをお願いしたところ、「おもしろかった」「楽しかった」「また参加したい」との回答が圧倒的でした。7月からコースを何回も試走、プランには自信を持っていたものの参加者が集まらず、不安に駆られた時期がありました。それだけにスタッフ8人の喜びは大きく、「地元の奥須磨公園に親しんでもらえた。次回もやろう」と意欲満々でした。＝写真は、奥須磨公園でスタートを待つ参加者 (広報・南形徹)

東灘区会 ふれあいフェスタへ出店

東灘ふれあいフェスタ(11月3日)に、3つの会(区会・ボランティアガイドの会・梅一つ火会)が共同で出店しました。テントの中にダンジリ・美術館・名所・旧跡・水害・震災などの写真を掲示。美術館・酒蔵のパンフレットを積み上げ、「東灘検定試験・非公認」も実施したところ、雨が激しい1日でしたが50人が受験してくれました。すべての解答欄にすいすい記入した方はありませんでしたが、区会スタッフの助言で、「100点満点!!」。大満足の様子でした。区の花「梅」は90%の方が正解で、「梅一つ火会」の10年の啓蒙活動が実ったものと思います。受験はしないが、会場を覗かれ方も多かったので、「これから区内の名所を見学していただける」と期待しています。会場清掃は12人のカレッジ在生(地域連絡会)にお願いし、ゴミ一つ無い会場にしてもらいました。今後とも、現役とOBの協力態勢を維持していきます。＝写真は検定試験の様子 (長谷川博・生9)



長田区会 バーベキューで親睦会

11月11日、長田区会(藤田忠之区会長:会員53人)は、バードウォッチングとバーベキューの親睦会を、しあわせの村一帯で開催しました。参加者10人は、名ガイド・堀池邦康さん(生17)の案内で本館前を出発。鎮守の森-日本庭園-野外センター-堂坊池を巡る1kmのコースを1時間半ほどかけて、双眼鏡をのぞきながらのんびりと散策。カワラヒラやクサシギなど12種類の鳥に出会いましたが、カワセミの姿は見られずじまいでした。



11時、バーベキューサイトに到着。準備を始めた途端にわか雨! 大慌てでテントを張り終えたら、なんと青空が…。炭を起し、さあ〜、待ちに待った乾杯です。お酒と美味しい肉に舌鼓を打ちながら、会話が弾みます。降ったり、やんだりのお天気でしたが、「楽しかった、来年もやりましょう」「日頃おしゃべりしない人とも話げできた」と好評でした。(井口久美子・福16)

北区会 淡路へバスツアー

北区会は秋晴れの11月27日、淡路島へ親睦バスツアーに出かけた。参加者は27人。コースは県立淡路景観園芸学校—あわじ花さじき—北淡震災記念公園—薫寿堂（線香工場）—タコせんべいの里—千年—酒蔵。朝9時に谷上駅前に集合、しあわせの村に寄って一路淡路島へ。園芸学校では〈わ〉の西山理事が出迎えてくれ、びっくり。西山さんはここでボランティアをやっており、広大な敷地にあるセラピーガーデンやイチゴノキ、ハンカチ



ノキなど珍しい樹木を案内してくれた。（写真）

その後、大阪湾・神戸市が一望できる隣のあわじ花さじきに移動、すばらしい景色を堪能した。売店では名産のたまねぎを買う参加者が多かった。

昼食は北淡震災記念公園のレストランで摂った。大震災の断層を保存する記念館を見学し、震災の恐ろしさを思い出す参加者もいた。線香工場、たこせんべいの里を見学し、淡路の銘酒・千年—酒蔵へ。試飲を楽しみお好みの銘酒を買ってツアーを締めくくった。参加者は「楽しかった。いい見学旅行だった」と満足そうだった。＝木村成男撮影（土井昭政・国10）

垂水区会 わが街垂水を歩く

今年2回目となる歴史探訪会が、12月13日に行われた。この朝、垂水駅に23人が集合。日向遺跡—洞養寺—青木寺—遊女塚宝篋印塔—五色塚古墳—垂水漁港—海神社のコースを2時間ほどかけて散策しました。垂水観光推進協議会にボランティアガイドをお願いしましたが、カレッジの卒業生2人も含まれていました。「五色塚は初めてだ」「こんなに駅に近いところに遺跡があるなんて…」という声もあり、長年住んでいてもまだ知らないところがたくさんあります。「次回もやりましょう」と散会しました。（板野武一・生16）

私のボランティア日記

遊志の会 波多野武郎（食16）

遊びの会ではありません。れっきとした食文16期生のボランティアグループです。「なにを行うにも常に遊び心をもって、全員で楽しむ」をモットーに活動しています。主な活動は、「神出自然教育園」で子どもたちと一緒に豆腐作りをしたり、長田区にある「ふたば人材支援センター」で、季節毎の料理教室を開催したりしています。毎回、活動には20人前後の会員が参加、この原動力となっているのが、遊志の会のクラブ活動（山歩きの会・麻雀・旅行・歌謡など）です。遊びを通じて、会員相互の親密な交流が芽生え、気心が通じ合う…それが、協働でボランティアを行う喜び、楽しみに繋がっているように思います。

どんぐり工作大盛況

11月24日、地域人材支援センター（長田区）で、「まちの文化祭」が行われ、グループ〈わ〉は、「松ぼっくりツリー」と「どんぐりブローチ」作りのブースを開催しました。

10時の開場と同時に、大勢の親子連れらがつめかけ、スタッフ（本部）は大わらわ。特にXマスツリーは子どもたちに大人気で、準備した25個の松ぼっくりは、午前中になくなってしまいました。



「素敵なツリーができて嬉しい」と喜ぶ子や「可愛いでしょう」とテントウムシのブローチを見せる女の子。出来上がった作品に子どもたちも大満足の様子です。付き添いのお母さんからは、「来年もぜひ開催して欲しい」との声が聞かれ、100人を超える参加者に、スタッフは嬉しい悲鳴をあげていました。＝写真はまつぼっくりツリーを作る子どもたち 北村洋撮影（広報・井口久美子）